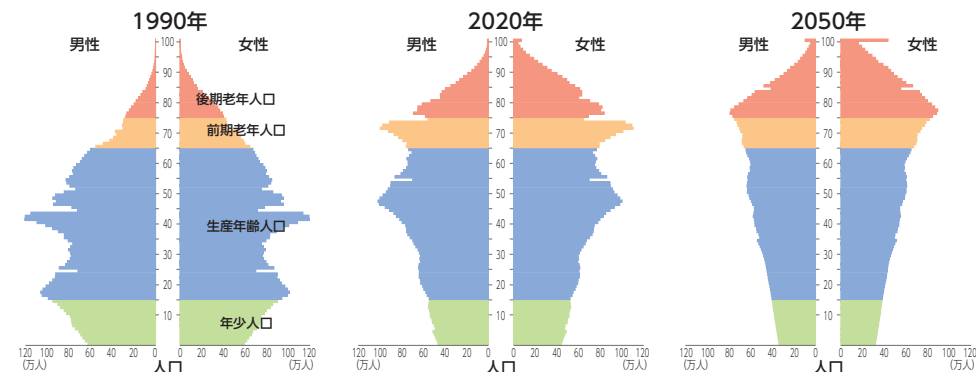


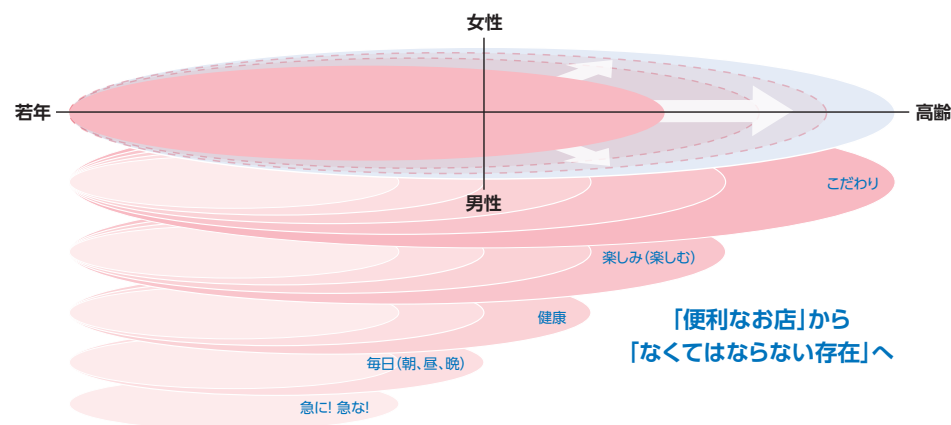
お客さま層の広がり

マチで暮らすすべての人の、いつもの買い物の場であるために

365日、24時間いつでも開いていて、食品や日用品など必要なものが揃っている。コンビニエンスストアはマチのインフラとして今や不可欠な存在です。ローソンではお客さま層の拡大と深化を目指した商品・サービスを一層強化。マチのすべての方々の、“欲しいものを欲しいときに”を実現します。



出典：国立社会保障・人口問題研究所ホームページ (<http://www.ipss.go.jp/>)



“欲しいものを欲しいときに”

現在、日本では少子高齢化が急激な勢いで進行しており、ことに今後、若年層の大幅な人口減少は明らかです。この社会を維持していくためには、働く女性や元気なシニア層のチカラがますます必要でしょう。こうしたなか、ローソンでは、30代男性を中心とする従来のコンビニエンスストア主要客層だけではなく、女性やシニアのお客さまにも幅広く日常的にご利用いただけるように、さまざまな取り組みを進めてきました。“欲しいものが欲しいときにいつでも買える”お店として、「マチの一番店」を目指していきます。

小分けニーズや健康志向に対応した品揃え

高齢の方々にとって日常のお買い物は大変です。車を運転しない場合、遠くの大型スーパーマーケットに行くのは困難ですし、丸々1個の野菜ではなく、小分けで買いたいというニーズも多くなっています。ローソンは、そうしたご要望にお応えするべく、プライベートブ

ランド「ローソンセレクト」に、1~2人向けのお惣菜やカット野菜などの品揃えを拡充するほか、焼き魚や煮物などの本格的な味を追求しました。また、ブランパンシリーズやグリーンスムージーのほか、「もっと!野菜」シリーズの弁当など、健康志向に留意した商品群も多彩です。さらに、各種OTC医薬品を揃え、健康相談窓口も併設したヘルスケアローソンも全国に182店舗(2018年6月末現在)まで広がっています。

毎日の買い物も便利に

仕事で忙しい女性たちや、家事育児に追われる主婦層にとっても、便利な品揃えを拡充しています。夕食のおかずの1品になるお惣菜や冷凍食品、朝食用としてのパンや牛乳などを、会社帰りにちょっとローソンに立ち寄って買うことができます。食品だけでなく、「ローソンセレクト」の日用品類もお値頃で提供しています。朝も夜も思い立った時に歩いて行ける身近なお店で、必要な品をスピーディに選ぶことができます。

